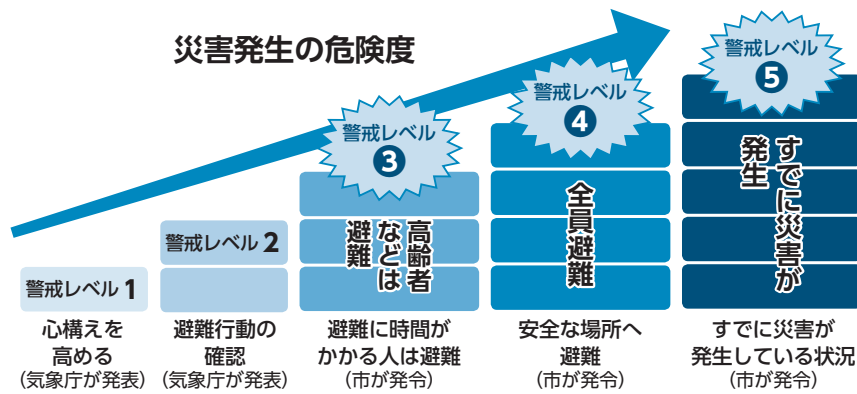


逃げ遅れゼロへ 警戒レベル4で全員避難

大雨や土砂災害などの避難情報を分かりやすく伝えるため、6月から5段階の「警戒レベル」が使われるようになりました。レベルごとの危険度や、取るべき行動を知りましょう。



避難のタイミング

警戒レベル5は、すでに災害が発生している状況です。警戒レベル4や3が発令されたら、避難を始めましょう。

警戒レベル4…全員避難

速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅の中より安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル3…避難に時間がかかる人とその支援者

高齢者や障害のある人、乳幼児がいる世帯など、避難に時間がかかる人は避難を始めましょう。そのほかの人は、避難の準備を整えましょう。

警戒レベル2…避難行動の確認

避難に備え、ハザードマップ

などで避難先やルートを確認しましょう。

警戒レベル1…心構えを高める
災害への心構えを高め、気象情報に注意しましょう。

日ごろから備えを

いざというときに迷いなく適切な行動を取れるよう、日ごろから備えておくことが重要です。自分だけで避難することが難しい人は、避難を手助けしてくれる支援者と、避難方法について相談しておきましょう。

避難情報が発令されたら、自分は大丈夫とは思わず、早めの避難を心掛けましょう。

問い合わせ先

総務課地域安全班

☎ 62・5311

もしものときに対応できるように

緊急通報装置を貸し出しています

緊急通報装置とは、高齢者が急病などの緊急時に、装置のボタン一つで相談センターに通報が入る装置です。24時間いつでもつながり、状況によりセンターから救急車の要請や、緊急連絡先の協力員に連絡します。看護師などが常駐しているので、健康相談なども受けられます。

対象／65歳以上の1人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯
※緊急時に駆け付ける人の事前登録が必要。働いている人

や、別棟や隣家に身内が居住している場合は対象外。

費用／1か月当たり2,862円まで

※所得税非課税の人は無料。所得に応じて一部負担あり。

そのほか／固定電話の有無により、付属する装置の内容が異なります。

申し込み・問い合わせ先

高齢者福祉課高齢者班 (☎62-5350)

通報の流れ



急病などの緊急時や健康上の相談がある場合に、装置のボタンを押すと、24時間365日いつでもコールセンターにつながります。

相談センター
(立山システム研究所)

看護師や保健師などの有資格者が常駐するコールセンターは、24時間365日対応しています。

